

第 2 次掛川市総合計画改定・ポストコロナ編
基本構想・計画改定案へのご意見の反映状況

	発言者	ご意見の概要 (第6回審議会)	分野	反映状況
1	委員	出生率をどのように設定するかで市の将来人口推計の結果が変わってくるので、いくつかシミュレーションしておく必要がある。また、施策との関連性の裏付けができるようにしておいた方がよい。	人口	人口や出生率につきましては、近年の動向を検証して複数のシミュレーションを作成するとともに、さらに政策との関連付けについても検討しました。
2	委員	学校教育法施行規則の一部改正に伴い、医療的看護ケア職員のことについても加筆をした方がよい。	教育	1 - (1) 現状と課題に「 <u>医療的ケア児を安心・安全に受け入れるため支援体制の充実を図っています。</u> 」と記載し、施策の方向③に「 <u>医療的ケア児の支援を充実するため、スキルアップのためのサポーターの研修の実施やサポーターの増員、医療的ケア看護職員の配置等、支援体制を強化します。</u> 」と記載しました。
3	委員	様々な意味での女性への配慮、安心して子供を産み育てられるサポートがあると、2人目につながるのではないかと思います。	子育て 産業 協働	2 - (1) 施策の方向④のタイトルを「 <u>仕事と子育てを両立できる環境づくりの促進</u> 」としました。
4	委員	女性活躍支援のためのプラットフォームがあるとよい。		4 - (1) 現状と課題に「 <u>女性や若者など誰もが安心して働き続けることができる環境づくり</u> 」と記載し、施策の方向③に「 <u>市民や事業者等に対し、女性が安心して働き続けることができる環境づくりなど、様々な観点におけるワーク・ライフ・バランスの啓発</u> 」「 <u>子育てや介護、地域活動など、性別や年齢にかかわらず、それぞれのライフステージにおける仕事と生活の調和の実現に向けた取組を推進します。</u> 」と記載しました。
5	委員	女性が安心して出産・子育てできる労働環境づくりなど、企業協力の視点を入れてほしい。		その他、防災分野で「 <u>防災への女性への参画</u> 」と追記したほか、各個別計画へも女性参画の視点を反映するとともに、各分野の連携を進めます。
6	委員	「女性が働き続けられる社会」ということを盛り込み、女性が働きやすい環境づくり（企業の取り組み、行政の支援）などについても明記した方がよい。		※第1部「総論」の課題に対する主な取組に「 <u>安心して地元で働ける暮らしづくり</u> 」「 <u>安心して子どもを産み育てられる暮らしづくり</u> 」として、各分野が連動した女性の働き方や子育てへの取組を追記しました。
7	委員	掛川市は他市と比較して子育てしやすい環境だと思っているので、その辺りの情報発信をした方がよい。		
8	各委員	女性の参画の問題は様々な分野に関わることなので、縦割りで分断されることなく、関係する施策が連動するようにしてほしい。		

発言者	ご意見の概要 (第6回審議会)	分野	反映状況
9 委員	高齢化や健康づくりの問題については、高齢者に対する健康教育だけでなく、小中学生や次に介護をする世代に対しても、健康づくりについてや、人生100年時代をどのように歩んでいくのかということ学ぶ機会が必要だと考える。	福祉	2－（5）現状と課題に「 <u>高齢者が生き生きと暮らせる環境づくりには在宅介護や地域包括ケア体制の充実はもちろん、各世代ごとに教育や啓発を行いながら、世代を超えた共通理解を得ることが肝要です。これらの継続した取り組みが、高齢になってからの介護予防や暮らしやすさに多大な効果を及ぼすことから、若年層を対象とした介護予防や健康施策と高齢者施策とを連動させ、相乗効果を高めながら実施することが求められます。</u> 」と記載し、施策の方向①に「 <u>今後の超高齢社会において、若い世代を含め地域とともにどのような対応が必要か、様々な立場の方と検討を行います。</u> 」と記載しました。
10 委員	リモートワークにより、掛川に住みながら遠方の仕事ができたり、住まなくても働けたりする時代になっているので、その辺りも明記してもよいのではないかと。	産業	4－（1）現状と課題に「 <u>リモートワークやワーケーション等、自由に選択できる働き方により誰もが柔軟に働くことができ、多様な人材が活躍することができる環境づくりが求められます。</u> 」と記載し、施策の方向②に「 <u>多様な人材が活躍するまちを実現するため、柔軟な働き方を推進します。</u> 」と記載しました。
11 委員	地域循環共生圏は市民になじみがない言葉なので、行動できる市民となれるよう、市民が理解できる表現で踏み込んだ説明をした方がよい。また、環境分野は様々な広がりを持ってきているので、関連施策への広がりなどももう少し具体的な施策の説明をした方がよい。	環境	3－（1）施策の方向①のタイトルを「 <u>再生可能エネルギーの地産地消の拡大と地域課題解決の促進</u> 」とし、「 <u>売電収入を財源とした公民連携による地域課題解決事業を実施し、エネルギーと資源の循環を図ることで、持続可能な都市発展を目指します。</u> 」と追記しました。
12 委員	地域循環共生圏の構築については、施策の方向が抽象的なので、新電力以外の施策も書いた方がよい。	環境	施策の方向③を「 <u>太陽光や風力、バイオマスなど地産の再生可能エネルギー発電設備の普及促進を通じ、再エネ発電量を拡大するとともに、これらを有効に利用する省エネ推進との組み合わせにより市内エネルギー自給力の向上を目指します。</u> 」としました。

	発言者	ご意見の概要 (第6回審議会)	分野	反映状況
13	委員	創業支援だけでなく、掛川では基盤がありながら継承者がいない事業者も多く、そういった事業者への支援も進めていくとよい。	産業	4－(2) 施策の方向①に「 <u>事業継承の支援や、企業と新規創業者等が連携する場の提供、先導的な企業の探索等を行います。</u> 」と記載しました。
14	委員	人と人、他産業との連携、障がい者や高齢者等農家と関連が薄い人など、様々な業種との出会いの場が増えるとよい。障害のある子供たちとの出会いの場や、自然に触れることのできる体験ができるとよい。	産業	4－(3) 現状と課題に「 <u>他分野・多産業との連携により担い手となる新規就農者・後継者の確保と育成を図る</u> 」と記載し、施策の方向⑤に「 <u>さらに、農福連携の講習会の開催による農業者の理解促進や福祉施設とのマッチングを継続し、障がい者や高齢者等の農業参加を推進し、多様な作業環境を整えていきます。</u> 」と記載しました。
15	委員	ブランディングなど、ターゲットと戦略を明確にした方がよい。誰に刺さるのか、様々なリソースに対するペルソナをはっきりするとより届きやすくなると思う。	産業	4－(4) 施策の方向③に「 <u>次世代を担う若者を中心にSNS等で発信していきます。</u> 」と記載しました。
16	委員	デジタル化に関して、見方が浅く範囲が狭く、デジタル化のメリットが描き切れていない。行政内部業務におけるデジタル完結は重要なポイントなのでもう少し検討をした方がよい。	行財政	7－(5) として、個別施策「 <u>未来に向けて誰もがつながるまちへの変革の推進</u> 」を追加し、各分野が連動したデジタル化の推進についてまとめました。 7－(4) 現状と課題に「 <u>データの政策への活用、内部業務をデジタルで完結できる環境整備に取り組む必要があります</u> 」と記載し、施策の方向⑥に「 <u>内部業務をデジタルで完結させる整備を進めることで市民の満足度向上に向けた窓口対応と適切な業務遂行に努めます。</u> 」と記載しました。
17	委員	行政の取り組みによる減災効果が市民や対外的に伝わっていないので、明記すると市民・企業にとって分かりやすい。	安全・安心	6－(1) 現状と課題に「 <u>『掛川市地震・津波対策アクションプログラム2014』においては、完了もしくは前倒しで進めた項目が令和2年度末時点で28件となり、減災対策が進んでいます。</u> 」と追記しました。
18	委員	子ども、女性、外国人など多様な方の防災対策への参画や、配慮や対応について明記があるとよい。	安全・安心	6－(1) 施策の方向①に「 <u>要支援者対策や外国人対策、防災への女性の参画を進めます。</u> 」と記載しました。